

KOYO ROLAMENTOS DO BRASIL LTDA.

- ブラジル光洋ベアリング , K B R -

1. 会社概要

社名 KOYO ROLAMENTOS DO BRASIL LTDA.
 所在地 ブラジル連邦共和国サンパウロ州
 サンパウロ市
 創立 1991年
 従業員 11名
 業種 各種転がり軸受と関連製品の輸入，販売

2. 地域の紹介

ブラジルと聞くと、アマゾン、リオのカーニバル、ペレやジッコに代表されるサッカー、悲劇のF-1レーサー「アイルトン・セナ」といった言葉が一番先に浮かんでくるとは思います。日本に住んでおられる方々にはまだまだ馴染みの浅い国の一つではないかと思えます。

ブラジルにはメキシコやペルーのような遺跡はありませんが、少し中南米に詳しい人だと、イグアスの滝、パンタナルといった巨大な自然を直に感じることでできる場所や、世界最大のサッカー場「マラカナ」などはご存知と思います。またブラジルには1908年の笠戸丸到着以降の移民により、現在では130万人以上の日系人が住んでいると言われていますが特にサンパウロ市は日系人が多い町です。



マラカナサッカー場

さて、今回はブラジル光洋の所在地であるサンパウロ市を中心にご紹介させていただきますが、その前に国の規模を想像いただくために、ブラジルに



K B Rの所在地

関する一般知識を少し説明いたしますと、国土面積は約851万Km²で日本の約23倍、総人口は164百万人で日本の約1.3倍という風に大国であることがお分かりいただけると思います。

サンパウロそのものと言うと、中南米最大のビジネス都市であり、パウリスタ通りなどは先進国顔負けのビジネス街で、発展途上国の姿を想像して到着する海外からの出張者はその規模に度肝を抜かれることも度々ようです。

しかしながら、その反面残念ながら観光に適した場所は極めて限られており、その中であえて選ぶとすれば、イピランガ独立記念像および博物館、各種美術館、また日本駐在員にとって日本食料品購入には欠かせない「リベルダーデ」東洋人街等が挙げられます。



イグアスの滝



サンパウロ

また、珍しいところでは、南米らしく毒蛇、毒グモ、サソリなどの有毒生物の血清ワクチンの研究や製造で有名な「ブタンタン毒蛇研究所」などもあります。

気候はというと、ブラジルは国中熱帯気候だと思われている方も多いと想像しますが、サンパウロは海拔約800メートルの高原に位置する為、温帯に近い気候となっています。また、当然夏には摂氏30度を越えますが、湿気が比較的少なく日本のような蒸し暑さではありません。

ここに来て不思議だなと思ったのは、夏でも3～4日雨が続くと気温が15度以下まで下がったり、また、逆に冬でも4～5日晴天が続くと、30度を越えることさえあることです。

さて、皆さんが興味を持っておられることの一つは、食生活であると思いますが、ブラジル料理の中で最も有名なのはCHURRASCO(シュラスコと発音)というバーベキュー料理で、20種類を超える肉の固まりを焼き立てで食べ放題という、肉好きには極めてたまらないものです。日本でも食べられる料理の店が幾つかできているようですが、やはり肉の種類とその男らしい味付けは一度本場で味わっていただきたいものです。ちなみにCHURRASCOは友人や親戚を集めて、自宅の庭や公園で料理する機会も多いのですが、前述した通り、作るのは男の仕事であり、これは奥さん連中が働く必要のない唯一の料理となっています。

3. 会社の紹介

光洋精工は、以前リオデジャネイロに主に鉄鋼設備向け大型軸受を製造する工場を有していましたが、1991年閉鎖すると同時に、輸入販売を行う目的で、現在の会社を設立致しました。お国柄為替が不安定で、輸入に頼る当社にとって厳しい状況に直面することも何度かありましたが、持ち前

の努力とチームワークで今日まで成長しております。

2000年には優良多国籍企業である某自動車部品メーカーより、ブラジル地区における年間最優秀サプライヤー賞を受賞しました。現地生産メーカーの極めて多い当地としては異例の受賞であり、その結果として、さらなる販売拡大に向け努力を続ける当社の現地スタッフを一層勇気づけることになりました。



KBRのメンバー

4. 今後の展望

ブラジルは急激な経済発展を期待されながら、なかなか飛び立てずにいる巨大な鷲の様な国であります。鉱山資源をはじめ、広大な国土を利用した農産物等も極めて豊富であり、決してこのままでは終わらない底力を持つ国であると信じています。

しかしながら、中南米という政治的にも、経済的にも安定さに欠ける地域において、メーカーとして継続していくことは決して容易なことではなく、それを乗り越えるだけのタフさ、柔軟さ、辛抱強さが必要であると考えます。

ブラジルの軸受総需要は中南米全体の約半分に達すると言われており、まだまだ伸びる余地あると予想されます。また、国としての経済の発展スピードは今後さらに加速するものと見込まれており、その意味でも拡販活動を今後も拡大推進していく価値が十分にあります。

今後とも人間対人間の関係をベースとし、従業員一人一人の成長を積極的に促しながら、顧客に最良のサービスをご提供すること、ひいてはブラジル社会の発展に貢献にできるよう、全力をあげて営業活動を進めていきたいと思っております。

(光洋ブラジル 笹川謙治)